

(様式第2号)

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日: 令和6年10月2日

事業者名: 井戸工業株式会社

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み	関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
				指標	目標
環境	脱炭素社会に貢献するため、G-クレジット制度の利用を通して森林資源の保全を支援、森林の温室効果ガス(二酸化炭素)をオフセットします。	①住み続けられるまちづくりを, ⑬気候変動に具体的な対策を	本業市・樹齢1500年「薄墨桜」の里の豊かな水と森を未来につなぐプロジェクトを支援 5 t - CO ₂ 購入	指標	G-クレジットの年間購入量
				目標	毎年最低5 t - CO ₂ のG-クレジットの購入し、前年購入量に1 t - CO ₂ 以上、上乘せして購入する。(2027年までの目標)
社会	個人宅の施工にもリサイクル材料を使用します。(再生合材、再生砕石の積極的使用)	⑦エネルギーをみんなにそしてクリーンに, ①住み続けられるまちづくりを, ⑫つくる責任 つかう責任	令和6年度は個人宅工事件数12件。リサイクル材料使用率100%	指標	契約時の見積書に材料明記を確認
				目標	施主様の希望を汲みながら毎年使用率100%の継続を目指し、利用率を落とさない事を目指す。
経済	社員一人一人の暮らしと時間を大切に、無理なく年間を通して有給休暇を取得する事を推進します。	③すべての人に健康と福祉を, ⑧働きがいも経済成長も	令和5年度は一人当たり8.3日(年間)となった。	指標	有給休暇取得日数(年間)
				目標	令和6年度は一人当たり9日。令和7年度と8年度は一人当たり10日の定着を目指す。
ガバナンス	チェック	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている(PDCAサイクル等)。 <具体的な内容を記載> 全体会議にてSDGsの当社の取組内容の説明をする。必要な案件は個別面談で改善を促す。			
	<input checked="" type="checkbox"/>				